

市報

おおいた

2014

1.1

No.1620

謹賀新年

特集 2014新春座談会

岩崎 淳 日本銀行大分支店長を囲んで

大分市のまちづくりと未来への展望

2

2013年 大分市10大ニュース

8



大分市議会議長
板倉 永紀
Eiki Itakura

日本銀行大分支店長
岩崎 淳
Jun Iwasaki

大分市長
釘宮 磐
Ban Kugimiya

座談会 | 司会=米澤 有加

岩崎 淳 日本銀行大分支店長を囲んで

大分市のまちづくりと未来への展望

新大分市誕生50年を迎えた大分市。多くの先人たちが築いた歴史の重みを受け止めながら、後世に誇れる魅力と活力にあふれたまちの創造に向けて、大分市は着実にその歩みを進めている。50年、100年先を見据えたまちづくりについて、岩崎淳支店長をお迎えし、板倉永紀市議会議長、釘宮磐市長が語り合う。

米澤 皆さん、新年明けましておめでとうございます。

一同 おめでとうございます。

米澤 岩崎支店長、昨年を振り返って、大分市の経済状況なども含めて、どのような1年でしたか。

岩崎 リーマンショック後、東日本大震災などの影響で経済の立ち直りは遅れていましたが、ようやく明るい兆しが見えてきたと思います。特に、大分市では消費税増税前の駆け込みもあって、JR大分駅南側の整備に伴うマンションなどの住宅需要の高まりとともに、県立美術館建設や道路整備などの公共工事も地域経済を引っ張っています。

観光客もかなり増えてきました。例えば、クルーズトレイン「ななつ星in九州」の話題は、東

京でもテレビで報道されない日がないほどで、大分を取り上げられることが非常に多く、観光が経済を引っ張るとい形になっていま

す。残念ながら、全国の経済成長のテンポと比べると、まだ二、三歩遅れているという感じではあります。それでもいい方向に歩み出しています。

米澤 明るい兆しが見えてきたということ、今後が楽しみです。市長は、どのような年でしたか。

市長 昭和38年に6市町村が合併して大分市となり、ちょうど50年という節目の年にJR大分駅の南側が一気に変わりましたね。

7月にオープンしたホルトホール大分は、一日平均約6,000人の入場者数があり、年間目標の150万人を越す勢いです。また、

時を同じくしてシンボルロードは市民投票で「大分いこいの道」と名付けられ、市民植樹祭では南北広場合わせて約3,900人の市民に芝生を植えてもらい、現在、その芝が着実に根付いています。100年に1度と言われる県都の顔づくりが、さらに広がっていくスタートの年になったという思いがします。

また、観光面では観光大使の指原莉乃さんがセンターを務めるAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」の大分市バージョンの動画をつくりました。わたしも出演させられました。多くの市民の皆さんにも出演していただき、その動画再生回数は88万回を超えていて、世界に向け大分を大いにアピールできたと思います。そし

て、高崎山自然動物園のペンツのボス猿（*aオス*）復活劇のおかげで、高崎山を全国に発信できました。大分の話題について事欠かない、そんな1年だったと思いますね。

大分の宝を磨き、誇りを持つ

米澤 昨年は大分市の話題満載でした。今年は大分市の新たな魅力としてこれを売り出していきたいというのがありますか。

市長 わたしは、これから各都市が光り輝くためには、そこに住んでいるとつい見逃しがちなもの、磨けば光る宝を探し出して発信し、その宝に市民が誇りを持つことが大事だと思っています。よく大分は歴史的には何もな

大分の経済は
いい方向に歩み出している。—岩崎支店長—



板倉 永紀 大分市議会議長

都会の人にも大分市ならではの魅力をしっかりと知ってもらい、足を運んでもらいたい。
—岩崎支店長—



岩崎 淳さん 日本銀行大分支店長

宗麟の功績を知ってもらい、我々が誇りを持ち、後世にしっかりと伝えていかなければいけない。
—板倉議長—



釘宮 磐 大分市長

磨けば光る「大分の宝」を探し出して発信し、その大分の宝に誇りを持ち、大きなパワーにしていきたい。
—釘宮市長—

昭和38年大分市生まれ。大分市在住。昭和62年3月早稲田大学政治経済学部卒業。同年4月日本銀行に入行、平成16年10月ワシントン事務所長、平成19年7月金融市場局企画役、平成21年7月金融機構局参事役、平成22年7月金融機構局国際課長、平成24年4月大分支店長（現職）に就任。

と言われますが、約450年前に「大友宗麟公」が進取・開明の志を持って西洋文化を取り入れた。豊後府内（現大分市）は、当時、世界にその名がとどろいていたのですから、この事実を我々は再認識しなければなりません。昨年、副読本を作って小学6年生に宗麟の偉業を学んでもらったり、8月には、ホルトホール大分で「南蛮文化国際フォーラム」を行い、延べ約1,500人の市民の皆さんに参加いただきました。当日は、わたしが「南蛮文化発祥都市宣言」を行い、記念講演やパネルディスカッションなどを通して、世界から見た宗麟の新たな魅力について、楽しみながら学び、共有することができたと思います。また、11月に大分いこいの道北側広場で行った「宗麟公まつり」も大変な盛り上がりを見せるなど、着実に宗麟が大分の旗印になってきています。

議長 やはり歴史上の人物からは学ぶことがたくさんありますし、人が生きる上でのヒントのみならず、座右の銘として、生きる指針や道しるべとなっていくことが付けていききたいですね。

議長 都市間競争を勝ち抜くには、単独自治体のみでは限界があります。昨年「キリシタン・南蛮文化交流に関する協定」を締結した6市町（国東市・日出町・臼杵市・津久見市・竹田市・大分市）を中心に連携・協力・交流を進め、観光振興や大学などとの連携、文化遺産の発信等々、注目度の増す取り組みが必要ではないでしょうか。

大分駅を出たときに、豊後府内から南蛮文化が発祥したというイメージがぱっと浮かぶようにするとか、駅近くに大友氏遺跡などの遺跡があるのでそれを有効に利用するなど、大分駅と連携して観光に結び付けていけたらいいですね。

と多々あります。100年の歴史を刻んだ大分市にとって、歴史上の人物にスポットを当てていくことが必要だろうと思います。

大友宗麟と南蛮文化発祥都市おおいたを大分市の顔として全国に発信していく「大友宗麟プロモーション」の取り組みの中で、宗麟が残したさまざまな功績をまずは知っていただく。それからヒントを得て、これからの大分市が魅力ある都市になっていくよう、100年先を見据えたまちづくりをしたいと思っています。

米澤 岩崎支店長は、この取り組みをどのように思われますか。

岩崎 東京の人に言わせると、大分といえば温泉がイメージされますが、温泉だけだったら近くに箱根や熱海があるため、わざわざ大分まで行かないということになります。そうすると、温泉プラスアルファの部分が必要で、大分がかつて大友宗麟の功績により南蛮文化の中心地であったという事実はあまり知られていません。わたしも大分に来て初めて知りました。友人を遊歩公園の彫刻群に案内して、フランシスコ・ザビエル

多々あります。100年の歴史を刻んだ大分市にとって、歴史上の人物にスポットを当てていくことが必要だろうと思います。

大友宗麟と南蛮文化発祥都市おおいたを大分市の顔として全国に発信していく「大友宗麟プロモーション」の取り組みの中で、宗麟が残したさまざまな功績をまずは知っていただく。それからヒントを得て、これからの大分市が魅力ある都市になっていくよう、100年先を見据えたまちづくりをしたいと思っています。

米澤 岩崎支店長は、この取り組みをどのように思われますか。

岩崎 東京の人に言わせると、大分といえば温泉がイメージされますが、温泉だけだったら近くに箱根や熱海があるため、わざわざ大分まで行かないということになります。そうすると、温泉プラスアルファの部分が必要で、大分がかつて大友宗麟の功績により南蛮文化の中心地であったという事実はあまり知られていません。わたしも大分に来て初めて知りました。友人を遊歩公園の彫刻群に案内して、フランシスコ・ザビエル



大分駅北口駅前広場完成イメージ（27年春完成予定）
大分駅北口（府内中央口）を出た広場に大友宗麟公像、フランシスコ・ザビエル像と九州が「BVNGO（豊後）」と記された世界地図を模して配置予定。

スポーツで心を一つに

米澤 大分市は歴史の面でもさまざまな魅力がありますが、大分市には4つのプロスポーツチームがあり、国内トップリーグで活躍しています。岩崎支店長も大分トリニータの試合にはよく足を運ばれているそうですね。

岩崎 はい。今も現役で試合に出場するほどサッカーが好きで、大分トリニータの試合もよくスタジアムで観戦しています。大分市のように地域にリーグのチームがあるとというのは、これも、あると当然のように思ってしまうのですが、全国的にはそれほどないわけです。そういう意味では、本当に大分に来てよかったと思っています。

今後、働く人の数が減少していく中で、今までのような経済成長の考え方、あるいはそこに価値観を求めるような生き方には限界があるのではないかと思います。経済的に豊かになったからといって必ずしも幸せになるわけではないですね。そこで何が必要かというところ、生きていく中で幸福感を高められ



米澤 有加 司会

が来訪したことや西洋の医療、演劇、音楽も大分が発祥の地であることなどを話すと、みんな一様に驚きます。それだけ知られていない。知られていないがゆえにポテンシャルは高いのです。

それらを知ってもらう上で、キリシタン・南蛮文化の中心的な人物として大友宗麟の位置付けは大きいと思います。都会の人は都会にはないものを求めています。大分市ならではの魅力をしっかりと知ってもらう、そこに足を運んでもらうことが重要です。

市長 現在、整備中の大分駅北口駅前広場に大友宗麟公像と新たにつくるフランシスコ・ザビエル像とを向かい合わせて配置する予定です。その地面には九州が「BVNGO（豊後）」と記されている16世紀に描かれた世界地図を模して配置し、大分を訪れた人に南蛮文化が渡来した地ということをしつかりと印象

るような世の中が重要だと思っています。そのためにはコミュニティの再生が必要だと思います。都会では隣に住んでいる人がどんな人か知らないという状況が多く見受けられますが、地方ではそんなことは少ない。歩いていると知り合いに会う機会も多い。まさにコミュニティがつくりやすいわけです。

特に、トリニータのようなスポーツのチームが自分たちのまちにあるというのは、地域コミュニティを再生していく意味でも極めて重要なことだと思います。また、そういった地域に支えられたチームというのは強い。強いというのには、別に成績が常にトップレベルということではなく、しぶとく生き残っていくことができると思っています。大分市にはトリニータをはじめ、国内トップリーグで活躍するスポーツチームが他にもあります。各々が頑張っていて、地域として盛り上がっていくということが重要だろうと思います。

米澤 その大分トリニータは、残念ながら来季はJ2降格が決まっています。ですが、ぜひ一刻も早い復帰を願いたいところですね。

大分に住んでいる人が
大分を訪問する人たちを巻き込んで、
大分の魅力を発信することが
これからのまちづくりに必要。—岩崎支店長—

広く市民の皆さんの意見を聞いて、議論を尽くし、
100年先に「いいまち」といわれるようなまちづくりを。
—板倉議長—



お互いがみんなで助け合う
コミュニティーづくり、絆づくり、
少子高齢化を見据えた人優先のまちづくりを
市民の皆さんと一緒に進めていきたい。
—釘宮市長—



整備が進む大分駅北口駅前広場と大分駅ビル (27年春完成予定)

市長 わたしも昨シーズン中、選手を何度か激励しましたが、思いが届かなかったことは残念です。わたしは、市民がこぞって大分トリニータを応援することが、何よりもまちづくりに効果的です。まちづくりのツールとしての存在感は大きいものがあると思っています。ヨーロッパではサッカー文化が根付いています。やはりホームタウンがあつて、そのまちに住んでいる人たちがみんなで応援しています。そういう意味では、日本のJリーグの中でその実践が象徴的に行われているのは、わたしはトリニータだと思っています。昨年、J1に復帰しましたが、確かにJ1の壁は厚かった。でも着実に力は付いてきているので、みんなで応援して、これをまちづくりに役立てていきたいですね。思想、信条が違つても、ゴールしたときに隣にいる人と抱き合つて喜ぶというのがスポーツのよさなんです。そこが、コミュニティーをつくる最大のツールになつていく。大分市は、トリニータだけでなく、大分三好ヴァイセアドラー、バサジィ大分、大分ヒール

北は開発が進んでいて、大分いいの道は、芝生の広場が広くて気持ちがよく、上野の丘までゆったりと見渡せる魅力のある場所です。コミュニティーの再生という視点で見ると、やはり人が集まる場所が重要ですね。車から降りて、ゆったりと安らぎ、いろいろなものを楽しんで、そこで時間を使つてもらふ場所が求められています。そういう意味では、現在、市が進めている中心市街地活性化の方向性というのは、そのニーズに十分合致したものだと思います。実際、アンケート結果などを見ても、「にぎわいあふれる通り」「歩行者に優しい通り」「緑あふれる憩いの通



トデビルの4つのスポーツチームのホームタウンです。これをみんなで応援することで、大分の結束力ができると思っています。
議長 大企業から支援を受けているチームや都会のチームと地方のチームが互角に渡り合うには、市民、市民が一体になつて支援体制をつくるしかありません。来季も、トリニータをはじめ、ホームタウンチームを市民みんなで応援していくということが大事だと思います。

駅を中心とした都市づくり

米澤 さて、大分市がさらに魅力あふれる都市へと発展するために「**駅を中心とした都市づくり**」といったニーズが非常に高い。とはいえ、これは行政の旗振りだけでは進まないもので、市民みんなでそういう場所をつくっていくという意識を共有することが大切だと思います。
米澤 わたしたち市民も、積極的にまちづくりに意見を出していく必要がありますね。
議長 100年に1度と言われる県都大分の顔づくり。この大事業をこれから50年、100年先を見据えたまちづくりをしなければならぬと思つています。議会としても、幅広く市民の皆さんの意見を聞いて、大いに議論を尽くして、将来へ向けて素晴らしいまち、100年先に「いいまちだ」と言われるようにしていきたいと思つています。

重要になるのが、中心市街地のまちづくりですね。
市長 昨年、大分市で開催した全国都市問題会議では全国各都市の市長、市議会議員など、約2,000人が参加し、多くの皆さんから、今の時期に、駅を中心とした場所でのみだけの再開発が進み、しかも、従来の車優先のまちから歩いて楽しめるまちへと変わろうとしていることについて、「大分は本場にうらやましい」という声をいただきました。わたしは、それだけ、今の大分のまちづくりが日本のこれからのまちづくりの象徴的なモデルとして期待されていると思つています。

市美術館から大分いいの道を通り、駅を抜け、中央通りを通過して県立美術館まですべて一体的に歩いて回遊できるのは素晴らしいと思つています。
岩崎 大分市は、大分駅がまちの中心にあり、その周辺に商業地が集積しているという、極めて立地条件としては恵まれている地域だと思つています。九州の中でも中心市街地とJRの駅とがつながっているのは大分だけ。しかも、駅の南

りを進めていきますか。
市長 大分駅の高架化事業は、九州の県庁所在地の中では遅れましたが、遅れたがゆえに、これからの時代を見据えたまちづくり、人優先のまちづくりができる。これは、最高に幸運なことだと思つています。だからこそ、全国の人たちが注目しているわけです。

30年後、50年後の大分市の人口構成を考えたときに、これからはお互いがみんなで助け合つていかなければ難しい時代です。そういう意味では、コミュニティーや絆というものが非常に重要です。その一つの場となり得るのが、駅を中心としたこの地域だと思つています。ワンコインバスの対象を昨年から65歳まで広げましたが、自家用車に頼らず電車やバスを使つてまちなかへ出掛けて、歩いてまちを楽しみ、買い物をして、また公共交通で帰る。このような人優先のまちが他都市から注目されるまちになつていくんだらうと思つています。ぜひ、皆さんといいまちをつくっていきなさい。
米澤 本日は、どうもありがとうございました。

8位
1,075票



北部九州総体(インターハイ)開催

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が、大分県・福岡県・佐賀県・長崎県の北部九州4県で開催されました。大分市では3競技が行われ、参加者、観客数は延べ16万7,074人に上り、大会を盛り上げました。

9位
973票



「草間彌生 永遠の永遠」の観覧者数が10万人突破

世界で活躍する前衛芸術家・草間彌生さんの創作活動を紹介する特別展が市美術館で行われ、10万人を超える観覧者が「草間ワールド」に夢中になっていました。

10位
904票



中央通り周辺で「まちなかにぎわい実験」を実施

中心市街地の中央通りをはじめとする公共空間を活用して、にぎわいや憩いの空間の創出を図る実証実験を実施しました。拡張した歩行空間などでは、市民から応募のあったイベントなどが行われ、多くの人でにぎわいました。

4位
1,433票



大分トリニータが無念のJ2降格

2012(平成24)年にプレーオフを制して、4年ぶりにJ1へ昇格した大分トリニータ。シーズンを通して多くの市民の期待を背負い戦い続けましたが、力及ばず、無念の降格が決定しました。1年でのJ1復帰を期待しています。

5位
1,234票



大分市観光大使の指原莉乃さんが、凱旋訪問

アイドルグループAKB48の「第5回選抜総選挙」で、大分市観光大使の指原莉乃さんが1位となりました。6月14日には大分市へ凱旋し、市役所やJR大分駅、商店街などを訪問。市民から激励や祝福を受けました。

6位
1,121票



昭和通り交差点の歩道橋が撤去

市内中心部の昭和通り交差点歩道橋の本体撤去工事が7月15日から行われ、45年間利用されてきた歩道橋が姿を消しました。

7位
1,089票



記録的な猛暑

7月24日に大分市で観測史上最も高い37.8度を記録しました。また、猛暑日連続日数が8月7日から22日までの16日となり、1887(明治20)年の観測開始以降、最長を記録しました。

大分市10大ニュース

皆さんに選んでいただいた2013年の「大分市10大ニュース」が決定しました。3,195通のご応募をいただき、ありがとうございました。

大分駅南にホルトホール大分・大分いこいの道がオープン

1位
2,134票



7月20日、JR大分駅上野の森口(南口)前に「ホルトホール大分」と「大分いこいの道(北側広場)」がオープン。市誕生100年記念モニュメント「100年の樹」も公開され、新たなにぎわいと憩いの空間が誕生しました。



オープン当日の様子

2位
1,747票

大分文化会館が47年間の歴史に幕を下ろす

1966(昭和41)年から文化芸術活動の拠点としての役割を担ってきた大分文化会館が、10月31日に閉館。最後の3日間は、市民による市民のための「大分文化会館 閉館記念ファイナルステージ」が開催され、有終の美を飾りました。



高崎山のボスザル「ベンツ」が新たな伝説をつくる

3位
1,654票



高崎山自然動物園で唯一、B・C群二つの群れのボスザルとなった「ベンツ」が9月に行方不明となり、17日後に市内で保護されました。一度群れを離れると合流も難しいと言われますが、山へ戻ると再びC群のボスの座へ。新しい伝説をつくりました。

ご応募いただいた皆さんの中から、抽選で10人に記念品をお送りしました。

なお、当せん者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。(広聴広報課)

大分・武漢合同美術展

大分・印象 武漢・印象

1月10日(金)～2月16日(日)

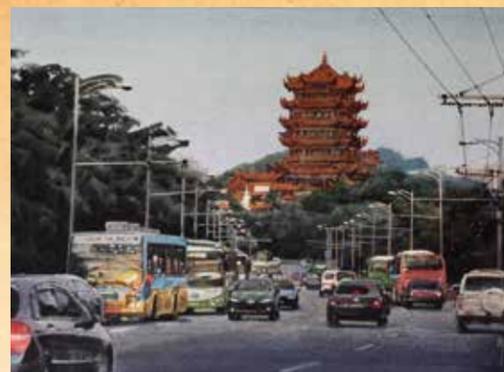
—「写実絵画」の諸相—

無料

【開館時間】午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

【休館日】1月14日(火)、20日(月)、27日(月)、2月10日(月)

大分市美術館は、友好都市である武漢市の美術作家の作品を本格的に紹介する初めての展覧会を開催します。本展覧会では、大分市の美術作家の作品も展示し、それぞれの自然や日常の情景を細かな筆遣いで表現した「写実絵画」をはじめとする、具象性に富んだ作品を中心として、両市の美術状況を紹介します。大分市と武漢市の美術の素晴らしさを分かち合い、武漢市と武漢市民を身近に感じてみませんか。



劉寿祥「黄鶴樓雄姿」



蔡楓「新址—武漢美術館」



中山甲彦「ターコイズブルー—大分県立芸術会館」



冷重「突窓—刺のあるスーテン」



南聡「雨上がり」

【関連イベント】無料

【大分・武漢美術交流フォーラム】

◎日時 1月11日(土) 午後2時～4時30分
(開場 午後1時30分～)

◎場所 ホルトホール大分3階 大会議室

◎定員 300人(当日先着順)

◎内容 両市の美術館長、美術作家、美術教育指導者の6人が、作品の特徴や美術活動の状況について討論。より深く、本展覧会の作品について知ることができま。

【絵画公開制作の一般公開】

◎日時 1月12日(日) 午前10時～午後5時

◎場所 市美術館 研修室

◎内容 両市の美術作家2人による絵画制作風景を一般公開します。

大分市美術館 コレクション展(常設展)

期間 1月8日(水)～4月13日(日)

※特別展が開催されている
1月10日(金)～2月16日(日)は無料

展示室1 近・現代の日本画

○テーマ 花鳥画の世界

○主な展示作品 福田 平八郎「黄鶴鶴」など



福田平八郎「黄鶴鶴」

展示室2 近世の絵画・南画

【前期】1月8日(水)～2月16日(日)

○テーマ 近代の南画—明治期を中心に

○主な展示作品 帆足 杏雨「前後赤壁図」
後藤 碩田「晩江帰棹図」など



帆足杏雨「前後赤壁図」(左幅)

展示室3 近・現代の洋画

○テーマ 人物を描く—片多、権藤、佐藤敬 ほか

○主な展示作品 片多 徳郎「自画像」など



片多徳郎「自画像」

展示室4 工芸

○テーマ 竹を編む技術

○主な展示作品 生野 祥雲斎「文人投入花籠」
生野 徳三「萌芽」
安倍 基「波の光」など



生野徳三「萌芽」

【観覧料】一般300円(団体250円)、高校生・大学生200円(団体150円)、中学生以下は市内・市外を問わず無料

※団体は20人以上。

※上記料金にてコレクション展(常設展)の展示室1～4をすべてご覧になれます。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料です。本展は「大分市美術館年間パスポート」がご利用できます。

※都合により展示内容が変わる場合があります。

お問い合わせ 市美術館 ☎554-5800

その他

自家用車でご来場の場合は、公園東側の駐車場をご利用ください。

内容

入場行進、式典、人員服装点検訓練(小型ポンプ、ポンプ車操作、古典はしご操作、消防団一斉放水など)
※「無火災」の願いを込めて、餅まきを行います。

日時・場所

1月12日(日) 午前8時30分～11時20分
平和市民公園 多目的広場

※雨天時は午前9時30分から消防局4階講堂で式典のみ行います。なお、この場合は音声案内(5332-1880)でお知らせします。



消防出初式

お問い合わせ

消防局総務課

☎532-2188

平成26年

大分市成人記念集会

1月12日(日) 正午～

(開場は午前11時20分予定)

場所 ホルトホール大分 大ホール
大分いこいの道北側広場

対象 平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人
(大分市に住民票がなくても参加できます)

ホルトホール大分 大ホール 午前11時20分～午後0時50分

午前11時20分～11時30分 開場(予定)
11時30分～正午 アトラクション:津軽三味線(匹田大智) 式典
◎市長、市議会議長からのメッセージ
◎20年間のあゆみ
◎二十歳のふれあいトークング 特別ゲスト ななみ(シンガーソングライター)

大分いこいの道北側広場 午前10時30分～午後1時45分

午前10時30分～ 出会い・ふれあい交流広場
◎思い出・記念の広場(記念撮影ができるコーナーを設置)
◎語らいにぎわいの広場(市内出身中学校の仲間が集うコーナーを設置)
◎新成人全員による記念撮影
◎ハイ!チーズ隊「シャッター押します」
◎フードコーナー

その他

- ・個人あての案内状は発送しません。
- ・駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ・手話通訳者、要約筆記者を配置しています。
- ・車いすを利用する人や介助が必要な人は、係員を配置していますので、気軽に声を掛けてください。
- ・飲酒している人は、入場できません。
- ・危険物および酒類の持ち込みは、固く禁じます。
- ・新成人全員で撮った写真は市のホームページに掲載します。ご了承ください。

お問い合わせ 生涯学習課 ☎537-7039

臨時職員および一般嘱託職員を募集します

職種	業務内容	応募資格・条件など	賃金・報酬	試験内容	採用予定者数
臨時職員【事務職】	正規職員の事務補助(窓口受付業務・パソコン操作など)	パソコンの操作ができる人	日額 6,840円	筆記試験 集団面接試験	100人程度
一般嘱託職員【事務職】	各種申請、届出等の受付・窓口業務、案内業務など	パソコンの操作ができる人	月額 184,000円	筆記試験 集団面接試験 個人面接試験	3人程度
一般嘱託職員【事務職(身体障がい者)】	各種申請、届出等の受付・窓口業務など	身体障がい者の条件(※)をすべて満たす人	月額 184,000円		2人程度
一般嘱託職員【ボイラータービン主任技術者】	市の清掃施設における発電用ボイラータービン設備に関する業務など	第1種または第2種ボイラータービン主任技術者の資格を有する人	月額 235,000円		1人程度

(※) ●身体障害者福祉法第15条に定める身体障害者手帳の交付を受けている人 ●自力による通勤ができ、かつ、介助者なしに事務職として年間を通じて職務に従事できる健康な人 ●活字印刷物による出題に対応できる人

試験日 筆記試験、集団面接試験……1月25日(土)

個人面接試験……2月8日(土) 嘱託職員受験者のうち、成績上位者のみ
採用説明会……2月15日(土) 臨時職員受験者のうち、成績上位者のみ

試験会場 市役所本庁舎8階 大会議室ほか

申込期間 1月6日(月)～10日(金) (郵送の場合は、1月10日(金)消印有効)

申込方法 大分市臨時的任用職員・一般嘱託職員採用試験申込書に記入のうえ、住所、氏名を書いた郵便はがきを同封し、直接または郵送で人事課(本庁舎4階 〒870-8504 荷揚町2番31号)へ。※はがきは、受付後に受験票として返信します。

その他 詳しい試験案内、申込書を人事課、各支所、明野出張所で配布します。また、1月6日(月)から市ホームページ(<http://www.city.oita.oita.jp/>)でもご覧になれます。

一般嘱託職員【事務職】のみ臨時職員採用試験と併願できます(一般嘱託職員として不合格であっても、採用試験で成績上位の場合は臨時職員として雇用される場合があります)。

※臨時職員は4月から9月末までの間、成績上位の人から順次採用します。採用期間は1年以内です。採用予定者数および賃金・報酬額は、変更になることがあります。一般嘱託職員は原則4月以降に採用します。詳細は試験案内をご覧ください。

お問い合わせ 人事課 ☎537-5604

1月 4日～ イベントカレンダー

- 4 (土) 新春・しぶんぎ座流星群の夜!**
時間/午後6時30分～10時
(雨天・曇天時は映像による説明)
参加料/観覧料(大人400円、高校生200円、中学生以下は無料)
場所・園関崎海星館 ☎574-0100
- 5 (日) ずばるとオリオン座大星雲を見よう!**
時間・参加料・場所・園は上記4日と同じ
- 10 (金) 木星、海王星、天王星を見よう!**
期間/12日(日)まで
時間・参加料・場所・園は上記4日と同じ
- 11 (土) 市公設地方卸売市場「市民感謝デー」**
時間/午前9時～正午
内容/新鮮な魚介類、水産加工品、野菜、果物、花などの販売
園市公設地方卸売市場 ☎533-3113
- 18 (土) 切り絵教室** [無料]
時間/午後1時～3時
場所・園ライパル ☎573-3770
※荷揚町4-36に一時移転中。
- 大分ヒートデビルズ対岩手ビッグブルズ**
日時/18日(土) 午後6時30分～19日(日) 午後2時～
場所/杵築市文化体育館(杵築市)
- 19 (日) バザジ大分対府中アスレティックFC**
時間/午後1時～
場所/ビーコンプラザ(別府市)
- 25 (土) 新春! さがのせき朝市**
時間/午前8時30分～10時30分(予定)
場所/県漁協佐賀支店周辺
内容/●朝市 ●佐賀県地区の特産品が当たる「お楽しみ抽せん会」(500円以上の買い物につき抽せん券1枚。景品がなくなり次第終了) ●クロメの販売(1,000本予定、当日午前8時30分から会場で整理券配布)
園実行委員会 ☎575-1000

市民図書館 おすすめの本

読みかかせのための本

『はじめてのおつかい』
筒井 頼子/作 林 明子/絵

『はなのあなのおはなし』
やぎゅう げんいちろう/作

市民図書館 ☎576-8241

大分市の面積と人口

【25年11月末日現在の住民基本台帳人口】

面積	501.28km ²	人口	478,640人
男	230,080人	女	248,560人
世帯数	210,105世帯		

赤十字救急法等講習会

コース	日時
①赤十字救急法基礎講習会	●1/21(火) ●3/14(金) 午前9時～午後3時
②赤十字救急法救急員養成講習会	●1/22(水)・23(木) ●3/15(土)・16(日) 午前9時～午後5時30分
③赤十字救急法救急員資格継続研修会	2/5(水) 午前10時～午後3時
④赤十字幼児安全法支援員資格継続研修会	2/25(火) 午前10時～午後3時

◆対象 15歳以上(②は基礎講習修了者で2日間とも参加できる人) ③④は資格取得後、2年以上経過した人 ◆定員 各30人 ④は20人 ◆参加料 ①②は1,500円、③④は1,000円(教材)

◆赤十字救急法等講習会

(金)土・日曜日、祝日を除く ◆その他 相談は無料ですが、書類作成は有料です。相談場所はお尋ねください。 ◆申込み・園 電話で、1月6日(月)から南九州税理士会大分支部 ☎53322974へ。

無料人権なんでも相談所

◆月日場所 ●1月20日(月) 市役所本庁舎8階 大会議室 ●1月29日(水) 鶴崎公民館 ◆時間 午前10時～午後3時 ◆相談員 人権擁護委員、法務局職員 ◆相談内容 金銭、相続、家庭内の問題、借地、借家、いじめ、その他の人権問題 園 大分地方法務局 ☎53322368

◆月日 ①日帰り：2月1日(土)、2日(日)、7日(金)、8日(土)、11日(火) ②泊2日：2月2日(日)～3日(月)、9日(日)～10日(月)、11日(火) ◆集合場所 JR大分駅

◆大分・長崎観光交流3周年記念「1万5千個の彩り長崎ランタンフェスティバル」バスツアー

◆申込み・場所・園 はがきまたは電話、ファクスで、日赤大分県支部(〒870-0033 千代町二丁目3-31 ☎53342236 ☎53336795)へ。

市民参観講座(毎月入会受付)

◆日時 1月19日、2月16日、3月16日、4月20日、5月18日、6月15日(日曜日) 午後1時～4時 ◆場所 大分県公民館(日吉町) ◆受講料 2,000円(6か月分) 園 市民参観連合会 石田 ☎5687786

◆第40回県民冬山登山教室

◆日時 2月2日(日) 午前7時30分 ◆集合場所 JR大分駅 ◆目的地 久住山(竹田市) ◆定員

◆申込み・場所・園 はがきまたは市ホームページに記入し、1月16日(水)までに産業振興課(本庁舎 ☎5377022)へ。

善意の泉(敬称略)

善意の寄付が相次いでおります。お礼申し上げます。

市へ

▼婦人ゼミナール・コレジオ▼株式会社ヤノメカネ

社会福祉協議会へ

香典返し寄付

大分地区

▼工藤昭二(浜町東)▼中

山季子(豊川団地)▼齋藤徹雄(岩田町)▼日高瑛子(金池町)▼大平久(太平町)▼衛藤金司(南太平寺)▼新井川久恵(大石町)▼木本恵美子(花津町)▼後藤高義(かたしま)▼中濱ウツ子(津守)▼鶴崎地区▼安部義尚(皆春)▼坂井耕二(森町)▼日高昭生(松岡)▼大地区▼田北美智子(大在北)▼島田喜代美(美沙島)

坂ノ市地区▼高橋一男(細)▼秦明彦(坂ノ市中央)▼高橋要治(坂ノ市中央)▼永田幹夫(坂ノ市中央)▼高橋治(坂ノ市西)▼白石利昭(佐野)▼狭間光則(久原中央)

大南地区▼平山千子(中戸次)▼佐藤里味(萩尾)

植田地区▼村上昌幸(光吉台)▼安東正憲(宗方台西)▼安野徹(寒田南町)▼森若喜代香(市)▼刈野千秋(實来南)▼藤元勝美(宮崎台)▼福田洋一(草土上)▼伊藤憲亮(寒田)▼笠置マツ子(木上)▼古庄進(東野台)▼牧野雅典(東院)▼牧弘子(ふじが丘)▼佐藤功一(松が丘)▼平山憲明(光吉)▼柴崎辰也(敷戸西町)

佐賀県▼若林邦江(二尺屋)▼渡辺英夫(本神崎)▼神田隆明(志生木)▼田中孝明(白木)

野津原地区▼志水恭江(入感)▼中村秀一(竹矢)

市外▼小城浩史(練馬区)▼若木昌紀(足立区)

以上11月20日受付分まで

東日本大震災への義援金

市役所第2庁舎2階福祉保健課、各支所、明野出張所に日本赤十字社の義援金募金箱を設置しています。

街のホット情報

税理士会の確定申告相談

◆期間 1月20日(月)～2月28日

山季子(豊川団地)▼齋藤徹雄(岩田町)▼日高瑛子(金池町)▼大平久(太平町)▼衛藤金司(南太平寺)▼新井川久恵(大石町)▼木本恵美子(花津町)▼後藤高義(かたしま)▼中濱ウツ子(津守)▼鶴崎地区▼安部義尚(皆春)▼坂井耕二(森町)▼日高昭生(松岡)▼大地区▼田北美智子(大在北)▼島田喜代美(美沙島)

坂ノ市地区▼高橋一男(細)▼秦明彦(坂ノ市中央)▼高橋要治(坂ノ市中央)▼永田幹夫(坂ノ市中央)▼高橋治(坂ノ市西)▼白石利昭(佐野)▼狭間光則(久原中央)

大南地区▼平山千子(中戸次)▼佐藤里味(萩尾)

植田地区▼村上昌幸(光吉台)▼安東正憲(宗方台西)▼安野徹(寒田南町)▼森若喜代香(市)▼刈野千秋(實来南)▼藤元勝美(宮崎台)▼福田洋一(草土上)▼伊藤憲亮(寒田)▼笠置マツ子(木上)▼古庄進(東野台)▼牧野雅典(東院)▼牧弘子(ふじが丘)▼佐藤功一(松が丘)▼平山憲明(光吉)▼柴崎辰也(敷戸西町)

佐賀県▼若林邦江(二尺屋)▼渡辺英夫(本神崎)▼神田隆明(志生木)▼田中孝明(白木)

野津原地区▼志水恭江(入感)▼中村秀一(竹矢)

市外▼小城浩史(練馬区)▼若木昌紀(足立区)

以上11月20日受付分まで

東日本大震災への義援金

市役所第2庁舎2階福祉保健課、各支所、明野出張所に日本赤十字社の義援金募金箱を設置しています。

山火事防止にご協力ください

空気が乾燥する季節です。たばこの投げ捨てなどはしないでください。火の取り扱いにも十分注意しましょう。

園農林水産課 ☎537-5783
園消防局予防課 ☎532-3199

ふるさとこの歴史再発見

古文書のコース

◆日時 2月8日、22日、3月8日、15日、29日(土曜日) 全5回 午後2時～3時30分

◆対象 高校生以上

◆定員 70人(多数時は抽せん)

◆受講料 300円

◆申込み場所・園 往復はがきに住所、氏名、電話番号、講座名を記入し、1月15日(水)(消印有効)までに歴史資料館(〒870-0864 大字園分960-1 ☎5490880)へ。

◆パバも子育て応援日

ハッピーファミリー応援教室 [無料]

①プレママ・プレパスクール

◆時間 午後1時～4時

◆内容 新生児の育児講座、妊婦体験、沐浴実習など

◆対象 初妊婦とその夫

◆定員 12組(先着順)

◆持参品 母子健康手帳

②親子スキンシップ教室

◆時間 午後1時15分～4時

◆内容 ベビーマッサージなど

◆対象 生後3～5か月児とその父母

◆定員 17組(先着順)

◆持参品 母子健康手帳、バスタオル、45リットルのポリ袋

◆月日 1月18日(土)

◆場所 明治明野公民館

◆申込み・園 電話で、1月6日(月)から南九州税理士会大分支部 ☎53322974へ。

情報学習センターの各種教室

◆54558616

◆上手に撮ろうデジタルカメラ写真

◆月日 2月18日(火)・19日(水)

◆内容 写真の撮り方からパソコンへの取り込み方までを学習

◆対象 デジタルカメラを始めようとする人や経験の少ない人

②親子で学ぼうインターネット安全教室 (スマホ携帯電話編)

◆月日 2月22日(土)

◆内容 スマートフォンや携帯電話の安全な利用方法を学習

◆対象 小・中学生(保護者同伴)

③音楽や動画を楽しもう

◆月日 2月26日(水)

◆内容 パソコンで、動画や音楽を楽しむ方法を学習

◆対象 これからパソコンを始める人や経験の少ない人

④動画を配信してみよう

◆月日 2月27日(木)・3月6日(水) (全2回)

◆内容 パソコンとビデオカメラを使って、インターネットで動画を配信する基礎を学習

◆対象 ソーシャルネットワークキングサービスの経験がある人

◆時間 午前10時～正午

◆申込み・場所・園 はがきまたは電話、ファクスで、日赤大分県支部(〒870-0033 千代町二丁目3-31 ☎53342236 ☎53336795)へ。

第7回体験工房

「ゴム鉄砲」作って当よう

◆日時 1月26日(日) 午前10時～正午

◆対象 小学生以上(低学年は保護者同伴)

◆定員 ①④各25人、②15組、③30人(多数時は抽せん)

◆受講料 ①④各600円、②無料、③300円

◆申込み場所・園 往復はがき(1教室につき1人1枚)に住居、氏名(②は保護者と子どもの氏名)、電話番号、教室名を記入し、1月21日(火)(必着)までに情報学習センター(〒870-0851 大石町二丁目3組)へ。

◆森林セラピー地域体験トレーニング

◆日時 1月26日(日) 午前9時～午後4時30分(受付は午前8時～)

◆場所 天面山セラピーロード市役所議会棟前集合後、バスで移動

◆内容 専門家によるトレーニング基礎知識の習得、陶芸体験、地元特産品の試食など

◆定員 30人(多数時は抽せん)

◆参加料 500円

◆その他 昼食持参

◆申込み・園 はがきまたは市ホームページに記入し、1月16日(水)までに産業振興課(本庁舎 ☎5377022)へ。

大分市婚活サポート

すてきな出会いを応援します

市では、独身の皆さんの婚活をサポートする「出会い応援事業」に取り組んでいます。今回は、市民の皆さんが自ら企画・実施する3つのイベントが開催されます。

イベント名・場所	日時・参加料	申込み・お問い合わせ
運命の婚活旅～ウエディングロード～	1月19日(日) 午前11時30分～午後3時30分 男性4,000円 女性3,000円	電話またはEメールで、ミクマリベース(竹元)へ。 ☎080-3973-6127 ✉mikumaribase@ybb.ne.jp
ザクラブ オブ エクセレントアベニュー(中島中央一丁目)	①プレ婚活ミーティング(1,000円) 1月26日(日) 午後2時～4時 3月にも1回開催予定 ②クッキングパーティー(5,000円) 2月11日(火) 正午～午後3時 ③カクテルパーティー(5,000円) 3月に1回開催予定(午後7時～)	電話またはEメールで、NPO法人Zac・エンタープライズへ。 ☎527-6616 ✉zac.mcp2013@gmail.com
sanasana フレンズ 婚活 夢いるパーティー 市美術館 研修室	・30代～40代 2月16日(日) ・50代～ 3月30日(日) 午後2時～5時 3,500円	電話またはEメールで、NPO法人Sa-Na・エンタープライズへ。 ☎090-7381-0494 ✉awa1971kaz@yahoo.co.jp

※内容・定員など詳しくは、各申込み先にお問い合わせください。

園男女共同参画推進室 ☎537-5724

大分の未来は ここから



市では、新しい大分のまちを創造し、次の時代に誇れる魅力と活力にあふれたまちづくりを進めています。これから50年先、100年先の未来の大分を共に築いていく人をシリーズで紹介します。

新たなスタートラインに立つ



大分市成人記念集会実行委員会
遠藤 由樹さん

1月12日(日)にホルトホール大分と大分いこいの道で開催される大分市成人記念集会(10ページ参照)。その実行委員長を務める遠藤由樹さんは「20歳の節目に何か大役に挑戦してみたい」と思い、委員長に立候補し、選出されました。

実行委員会は昨年9月に発足。月2回のペースで集まり、式典の企画やテーマなどを話し合います。

今年のテーマは「勇往邁進(ゆうわうまいしん)〜自分たちの夢に向かって〜」。これから直面する多くの困難に隠すことなく、前を向いて自分たちの夢に向かって突き進んでいくという思いが込められています。

市内で働く遠藤さんは「仕事と式典の準備の両立が大変と感じることもあるけど、きつと一生の思い出になると思う」と笑顔で語ってくれました。

また「20年間、ありがとう」という気持ちを親はもちろん、友達にも伝えたい。友達とは今まで支え合ったり、励まし合ったりしたので、とても感謝している」と振り返りました。

これから新成人として「わたしたちの世代から、さらに大分市を盛り上げていきたい。式典では、みんなで新たな門出を祝いましょう」と意気込んでいました。

今年、大分市から4,703人の新成人が誕生します。

企画・発行 大分市企画部広聴広報課
〒870-8504 荷揚町2番31号
【代表】☎5346111
【夜間・休日】☎5346119

市報おおいたに掲載している情報をご覧いただけます。
市のホームページアドレス <http://www.city.oita.jp/>
携帯アドレス <http://www.i-oita.net/oitatop.cgi>

この市報は再生紙を使用しています。



市民意見交換会 「知ろう! 語ろう! 未来の大友氏歴史公園」

参加者募集

無料

わたしたちの住む大分市は、戦国時代に国際色豊かな貿易都市として繁栄し、南蛮文化がいち早く華開きました。市では、その舞台であった大友氏遺跡を市民の誇りとし、観光の拠点とするため、歴史公園として整備・活用していくことを計画しています。

今回、歴史公園の役割や将来の姿などについて、市民の皆さんと話し合う意見交換会を開催します。

日時▶ 1月18日(土) 午後1時30分～4時30分
(受付は午後1時から)

会場▶ ホルトホール大分 302・303会議室

※応募多数の場合、会場を変更することがあります。その際は、往復はがきの返信にてお知らせします。

イベント内容

- ◎講演:「大友氏と豊後府内 —『小京都』をつくった戦国大名—」
講師:小島 道裕氏(国立歴史民俗博物館教授)
- ◎意見交換会:「大友氏歴史公園に期待するもの」

申込み▶ 往復はがきで、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、1月8日(水)【必着】までに文化財課「市民意見交換会係」(〒870-8504 荷揚町2番31号)へ。

お問い合わせ 文化財課 ☎537-5639

大分市テレビ広報



番組案内

放送局: TOSテレビ大分

※都合により、番組内容は変更になることがあります。



新春企画

釘宮磐大分市長 新春インタビュー

1月2日(木) 午後3時10分～3時25分

1月11日(土) 午後5時15分～5時30分

大分市内のケーブルテレビ局でも放送しています。

OCT大分ケーブルテレコム 日・月・火・水

OCN大分ケーブルネットワーク 日・月・火・水

STV 佐賀関テレビ 火・水・木

※放送時間帯は各局の番組案内をご覧ください。

表紙の言葉

お正月の風物詩、凧揚げ。七瀬川自然公園に、71個の凧が連なった「連凧」が、風に乗って青空に高く高く伸びていました。一つ一つの凧には、新年への夢や希望が乗っているようで、とても晴れやかな気持ちになりました。平成26年が皆様にとって、希望に満ちた良い年になりますように…。
(七瀬川自然公園で1月18日(土)にななせ川凧揚げ大会が開催されます。詳しくは15ページ参照)